

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	生活福祉課長	池田 徹
健福-10 戦傷病者戦没者遺族等援護事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	生活福祉課
総合計画上の位置付け		分野	健康福祉	施策の方針
				地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	戦没者の遺族、原子爆弾被爆者及び市民
意図	戦没者の追悼、原子爆弾被爆者に対する援護を通じ、平和を祈念するため。
効果	対象者の生活の援護や安定を目指し、福祉の増進を図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 戦没者の追悼式典を遺族等と行った。 鎌倉市遺族会へ補助金を交付した。 鎌倉市被爆者の会へ補助金を交付した。 本市の援護資格者として認定を受けた市民に対して、援護手当を支給した。 戦没者等の遺族への給付金等請求受付事務等を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	5,889	決算値(千円)	4,138	
	国県支出金	55	国県支出金	70	
	地方債	0	地方債	0	
	その他	0	その他	0	
	一般財源	5,834	一般財源	4,068	
	人員配置数	0.4	人員配置数	0.4	
事業経費運営	人件費(千円)	3,110	人件費(千円)	3,010	
	総事業費(千円)	8,999	総事業費(千円)	7,148	
	市民1人当りの経費(円)	51	市民1人当りの経費(円)	40	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	対象者の高齢化	
課題解決のために行った平成26年度の取組	わかりやすく丁寧な応対	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	平成27年4月から3か年にわたり、戦没者等遺族に対する特別弔慰金の受付業務が開始となる。市内で約1,000件の申請が見込まれ、かつ、1件あたりの受付時間が長くかかるため、円滑な対応を検討する必要がある。	

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか △-1. 協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 戦没者等遺族及び原爆被爆者については、高齢化が進んでいるため、遺族会や被爆者の会が高齢者の会員家族の訪問や相談活動等を行い、福祉の向上に寄与しており、補助金の減額は諸活動に支障をきたすと思われる。 また、被爆者手当については、現在137名に支給しているが、80歳以上が6割を占めており、手当の廃止は生活への影響が大きいと思われる。	
総評	市として戦没者に弔意を示し、恒久平和を次世代につなげていくため、今後も事業を継続して実施する。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	上段:戦没者追悼式参加者数(H26)		下段:記念品(参加者全員)単価						
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	229人	228人	153人		572人	475人		102人	101人
	460円	313円	432円		227円	324円		389円	

比較事項	被爆者援護手当の支給(市単)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	○	○		×	×		×	○
	2,000円/月	3,000円/月+ 年末5,000円	12,000円/年						5,000円/年

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方
 戦没者追悼式記念品(参加者全員)についての見直しが検討されており、近隣各市町と比較すると、やや単価が高めである。
 また、被爆者援護手当についても、市単位の支給を実施している自治体は少ないが、福祉の充実という観点から、本市ではこれまで継続している。

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--